

年月日	20 04 30	ページ	27	NO.	
-----	----------	-----	----	-----	--

金属板材・金型材料 特性分かりやすく

「モノづくりのバイブルに」

竹内型材研究所(神奈川県伊勢原市、内山真司社長、0463・93・7771)は、金属板材や金型材料などの自社製品カタログの新版「MAST総合カタログVOL.9」を「写真」を発行した。即納可能な熱処理済み板材の厚さ別の種類を増やしたほか、非磁性超硬薄板などの独自製品を新規に掲載。マンガや現場の具体的な困りごとの解決策を盛り込み、材料の特性を分かりやすくした。発行部数は4000部。



竹内型材研究所 製品カタログ新版発行

から金型部品の標準化を進めてきた。また差別化を狙い商品ブランド「MAST」を打ち出し、業界に浸透している。総合カタログは約40年前に第1弾を発行し数年ごとに改訂してきた。当初はネジやブッシュ、板材などの標準品だけを掲載していたが、得意とする微細、超精密、高耐久製品が増えて自社製品が主になった。

今回のカタログは社員が半年かけて手作りで制作した。鋼材のファイバー方向の重要性などのワンポイントや、焼き戻し温度表など現場で役立つ情報を盛り込んでいる。内山社長は、製品の良さを知ってもらうだけでなく「モノづくりのバイブル」として利用してもらいたい」という。

(相模原)